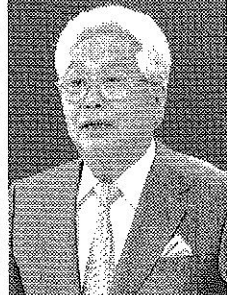


## 希望叶える団体に

### フローリング協会

フローリング協会（小黒邦雄会長）は13日、東京都墨田区のすみだ産業会館で、2012年4月度例会を開いた。



小黒会長は「安値受注で利益が出ないのは愚の骨頂だ。『隣の家に蔵が建つ。それを見たおいらは腹が立つ』というように、あいつには負けたくないという気持ちは分かるが、それでは経営は成り立たない。適正な単価で受注し、

われわれも利益を確保でき、職人もそれなりの給料が得られ、メーカーも利益を出せるように、三すくみの現状から抜け出さなければならぬ」と呼び掛けるとともに「口にプラス、マイナスで『吐く』だが、マイナスを取ると『叶う』になる。希望を叶えるような団体として成長していきたい」と述べた。写真。

例会では、施工部会、床製造無垢部会、床製造複合部会、置床・鋼製床部会、建販商社部会の各部長から活動が報告された。施工部会からは、昨今の職人問題についてのアンケート結果が報告され、職人の減少が長期化しており、深刻な状況にあり、その要因が工賃問題に起因しているこ

とを指摘。仕事の安定した継続性も必要とした。また、ゼネコンは型枠大工や鉄筋工の不足は理解しているようだが、人手不足は全職種に共通した深刻な問題であるということの認識が足らないのではないかという意見もあったという。

新会員として1月に霜鳥、4月に日東フローリングと団体会員として中日本フローリング協会が入会した。

松下雄介国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課専門工事業高度化専門官が、建設技能労働者を取り巻く現状と課題、建設業における社会保険未加入問題への対策について講演した。